

## 朝日さくら小学校説明会

令和8年4月22日(水) 19:00~21:00 朝日さくら小学校 多目的教室

参集者：小学校PTA 保護者13名、保育園保護者1名、区長9名、学校運営協議会4名、  
学校2名 合計29名

市教委 皆様、こんばんは。お忙しいところありがとうございます。  
今日は学校統合に伴います、朝日みどり小学校の改修工事内容の説明及び、この朝日さくら小学校の学校統合を検討のスケジュールということで、説明会を開催させていただきます。  
初めに教育長の遠藤からご挨拶申し上げます。

教育長 朝日地域の3つの小学校に関しては、将来的に3校の統合が予定されているにもかかわらず、小川小学校と朝日みどり小学校の統合の話し合いの進捗状況等について、朝日さくら小学校の保護者・地域の皆様に、全然途中経過等ご説明がなかったということで、大変申し訳ありませんでした。  
今日は今ほど、進行の方からお話がありました通り、これまでの小川小、みどり小の統合の過程、特に工事関係に関する事、それについてご説明させていただくとともに、今後の朝日さくら小学校の統合の時期等についてどう考えたらいいか、提案をさせていただきわけですけれども、出席の皆様方からたくさんのご意見やご要望について、お出しいただければ幸いです。  
3校の方、なかなかスムーズにというわけにはいきませんが、意見交換させていただき中で、丁寧な進め方をしていかなければならないと思っております。  
本日はよろしく願いいたします。

参加者 すいません。始める前にいいですか。今回この説明会をお願いした主旨は、このみどり小学校の工事の改修についての説明を求めていなくて、今までのさくら小学校に対する説明と、今進行しているものと相違点があるので、その相違点についての説明。そして謝罪、そして今後のスケジュールについて教育長をお願いしました。だから、今もう改修工事はさくら小学校は必要としていなくて、今までも説明していただいた経緯、何回もこの場で集まって会議開いてるわけですけども、教育長が、さくら小学校が統合するときには、さくら小学校の校舎を使うことも検討しますよという話があったのに対して、何かそうではないというような情報があったので、それに対する説明をまずしていただいて、多分、それが一番大事な所なのかなと思っておりますので、今日は工事の説明は全く必要ないと思っております。

市教委 工事の説明そんな長くしませんのでそれも含めて、今、言われたことも含めて、まず説明させていただきます。

参加者 駄目だな。

参加者 この説明会をお願いしたのは、教育長をお願いしたんです。

市教委 分かりました。まず、今、言われた件に関してですけれども、新たにさくら小学校が統合に加わる時は、合同統合検討会を開催して、対等に話し合う、使用校舎についても、検討の仕方についてもそうなりますでしょうかね。そこで話し合うということをお話しさせていただきました。にもかかわらず、議員から、今回の市議会の一般質問でもご質問あったんですけども、そういう中で、今朝日みどり小学校の校舎改修のために多額のお金を使ってるので、そのことは配慮されなければならないような発言も確かにいたしました。そうすると、もう全く平等じゃないじゃないかと。話が違うんじゃないかというご指摘をいただいております。そのこと

について謝罪っていう言葉を言われましたけれども、今、工事については必要だと思われる工事をまずさせていただくわけです。そこに、ある程度のお金を使うざるを得ないというのは、決して校舎を新築するとか、校舎を増築するとか、そのようなことに使うお金は無いけれども、子どもたちのために必要な改修工事をさせていただくことに今お金を使わせていただいているのです。まずそのことはご理解していただいた上で、今後の3校の統合になるときに、どのように話し合ったらいいのかということ、もちろん合同統合検討会で意見を出し合えばいいんじゃないかと思えます。その結果、このさくら小学校の校舎を使ったらいいんじゃないかという話が出るかもしれませんが、それは全体の意見の中で決めていけばいいんじゃないでしょうか。とにかく市が、みどり小学校の校舎改修する計画の事実がありますので、それはそれで尊重してもらわなければならないんじゃないかと思えます。私の説明も納得していただけないかもしれませんが、今段階のお話、現状ですので、皆様方からご意見を頂戴しなければならないと思っております。いずれにしても話し合いで決めていくことになると思えます。ということで、大変不信感を抱かせるような点があったことに対して、謝罪はさせていただきます。本当にご心配おかけさせることになって申し訳ありませんでした。

参加者

すいません。大きく2点。改めてですけども、最初、昨年一昨年の7月、1回目がありましてそのときから申し上げてきたんですが、3校でのあり方、或いは保育園を入れてのあり方、方向性をお話したらどうなんですかと言ってきたんですが、あくまでも2段階だと、その2段階の理由は3校にするとキャパがないよと、どの学校も。増築改築すればいいんじゃない、こう提案しました。そしたらお金は出せません。こう言いました。みどりと小川はお金がかかりませんと、そういう発言をしました。保護者にはお金がかかるんだったら、2段階でしようがないのかなという意見もありました。改めてですけども、最初からどうして、屋根・外壁・駐車場・鳥獣対策が必要なのですか。そういう話を3校一緒に、朝日全体の話をしなかったのはなぜかっていうのを言いたいの1つ。それと今ここにある計画ですけども、外壁、屋根の取りかえ、鳥獣対策と駐車場・ロータリー。すべてね、小川小とみどり小の統合に伴う経費というふうな言い方にしますけど私違うと思ってます。屋根・外壁、さくらでも小川でもどこの中学校でも壊れたら直さなければならぬ常態的な課題です。それと鳥獣対策。これは当然、それも中学校・さくら小・3つの保育園、どこでも出没があります。そうすると、2校が統合する必要がある経費という言い方されると、違うと思えます。駐車場はなんで130台も必要なんですか。ロータリー、もっと工夫して、工夫してお金がかからないから2段階なんですと、これはそういう話ししたはずですよ。なんで今になって3億4億なんだと。おかしいと思えます。それはぜひ中止をしてください。要望します。

1つ目いいですか。最初からなぜいろんな話をしなかったのか。削減される経費も職員の給与から光熱費、いろんな削減があるはずですよ。それもひっくるめて出して議論しませんかって言ったら、何も出さない。お金をかけられないんですよ。さっきも言ったように、お金をかからないようにやるのは2段階ですよ。騙したように私は思ってます。詐欺と同じですよ。

2つ目、さっきも言いましたけど、この総経費は2校の統合の経費とは言いがたいです。あくまでも常態的な話です。雨漏りしたら、さくら小であろうが、小川小であろうが、直さなきゃいけません。2校統合にかかるという頭でくくってますけども、それは違う、鳥獣対策も違う。どこでもある話です。猿や熊なんかは登り着きますよ。それが本当に根本的な効果がどのぐらいあるのか。よく検討した結果なんじゃないでしょうか。だから中止を求めます。いいですか。その2点、最初から、なぜそういう話をしなかったのか、全体として、さくらの外壁はどうだ、あれはどうだ、熊はどうだ、小川はどうだ、ロータリーはどうだとかさ、そういう発言を入れてこなかったのはなぜですかというの1つ。あと、さっき言った経費は中止してくださいって要望です。以上。端的にね、言ったことに対して端的に答えてくださ

いよ、別な観点から話さないでくださいよ。

市教委 改修工事に。

参加者 教育長に聞いてるんです。教育長がそういう話をしてきたはずですから。

市教委 事務局からひとまず説明させてください。

参加者 教育長だって言っているじゃないですか。

市教委 後で（話を）します。私も。

市教委 統合によって経費をかけられない、お金をかけられないと、伝えさせてきたのは。これからの子どもたちも、村上市に限らず減っていきますので、

参加者 いや、答えになってない。なぜ最初からそういう状況、3つの状況を出して話しなかったんですかと聞いている。それと、最初から外壁をどうだ、屋根はどうだ、さくら小はどうだ、小川小はどうだ、駐車場どうだ、ロータリーはどうだという、そういう話をなぜしなかったんですかって聞いている。今になってするのか。3億、4億円をかけるのか。それについて聞いている。

市教委 外壁などは統合のために新しく学校をするには、ある程度必要な工事だと私らも思ってますし、また駐車場のロータリーなどは、

参加者 ちょっと待って下さい。2校の話と違うじゃないですか。2校で、統合のときにそういう話は本当に必要な話ですか。全体の話でしょう。どこにも該当する話でしょうって言っている。そういうことをなぜ最初から今まで無かったですかっていうことを言っている。全体として討議しませんかって、いっぱい言いましたよね、何度も。それを固持して、2段階だ2段階だと。聞く耳を持たずに、教育委員会は進めてきたんですよ。あっちは2つの話、こっちは後の話。なんで先行したんですかって改めて聞いてます。

市教委 時系列で申し上げますと、3校同時にしますか、2段階にしますかということでこの学校にお邪魔して、最終的に2段階という決定となりました。それから初めて使う学校をどうしましょうかという、小川小とみどり小の協議に入ったわけです。

参加者 違うでしょ。2段階に決定したのはわかるんですよ。そうじゃない、その時も言ってきた話を、どうして聞いてもらってくれなかったんですかって。今になって外壁があれだこれだとか言い出したのですかと聞いているんですよ。その時何で3つの学校状況を、小川は築40何年で、さくらは築20何年でとか、その話しかしなかったでしょ。なぜそう、他の状態の話も出してしなかったんですかということを知っているんです。

市教委 ですので小川小みどり小で、どちらの校舎を使いましょうかという協議をして、希望として、みどりの方に決まりましたので、そこからロータリーを作るのが必要ですとか、校舎など、改修が必要になってきました。

参加者 話し合いの時に、みどり小学校であればお金を使いませんよってという話があって、みどり小学校であればパーテーションで仕切る程度で対応できますという話をしたと思うんですけども、そこが根底にあって、例えばそれだけの工事であれば、

多分誰も文句言わないんですよ。今こうなったときに、いや色々こうやっぱり必要ですよってなったときに、これ課長が回答してますけど、計画的工事ですと言ったんだったら、最初からみどりに対して、工事が必要だっていうのが分かってたんじゃないですかっていう。そういうことなんだと思います。結局、最初の説明ではパーテーション程度ですよって。

市教委　　ちょっとすいません、おっしゃる通りですが、最初のパーテーションというのは、増設はできないので、みどり小であれば、パーテーションで仕切って教室を確保できるのでという意味でもう認識、

参加者　　だからその2校統合した時には、その程度の工事しか必要ないという認識であるのに対して、余りにも大きくなってから皆さんが疑問に。

市教委　　その工事については、今日ご説明申し上げようと思ひまして、用意してきたところです。なぜ金額が膨れてるのかという部分について。

参加者　　それで終わり？ 回答？ 私が聞いたことはそういうことじゃないですよ。最初からもっと全体の話をしませんかかって言ってきたのを、なぜしなかったんですかと改めて聞いてるんです。2段階の話を聞いてるんじゃないですよ。そういう状況もあったんだしたら、3つの学校で交渉する状況ですという話をしてね、増築、改築を駄目って言われて、削減する経費もいっぱいあるんだから、それを出して議論しませんかと。それも出さず、それをしなかったのはなぜですかって聞いている。今4億だ、3億6000万だと言ってるから、それはなぜ最初からそういう話をしなかったんですか。2段階だけで走ってきたんですかって。

市教委　　区長様が最後に言われた経費の件はざっくりですけれども、今ちょっと手元に資料ないですけども、判定会か3月14日かその辺にちょっとお出しさしてもらったかなと思います。そのざっくりとした経費、どのくらい節減になるのか。

参加者　　財政は金出せませんという話だったはずですよ。これ聞いてますから

市教委　　私たち一貫して申し上げさせていただいたのは、今、前会長もご納得いただいたと思いますけども、子ども達が今後減ってくることによって増設・増築のお金などという話、説明させていただいたと思います。前回の令和2年度に発足した今の神納小の校舎ありますけれども、あれも2階建ての4部屋、その当時、西神納と東神納と神納小学校と統合して、部屋数が足らなくなるということで、それ5億ぐらいかかったところでした。そのような統合、増築については、今ちょっと申し訳ないんですけども、村上市にそういう体力はちょっと備えていませんという、ご説明させてもらってたと思います。

参加者　　数字出しました？ 増築・改築が幾らかかって、削減、費用は幾らで、出さなかったでしょ。

市教委　　増築・改築までは出してないです。なかなか業者さんをお願いするにしても、業者さんにもただでは負担をかけることになりますので。

参加者　　教育長は、職員の給料(人件費)が減ることは、そんなのは関係ないですよ。私には関係あるんです。そういう話がしたかったんですよ。教職員の賃金は県で、市じゃないんです。だから、市からじゃないから、削減は意味がないんですみたいな言い方したんですよ。それは違うでしょ。3校になれば、減る額は幾らかかっていうことが大事であって、国が出る、県から出る、市から出る、そんなのは税金でし

よ、国民市民の。そういう話しかしなかったんですよ。財政金かけられません。そういう話でしたよ。

市教委 学校が減ることによって維持管理費は軽減されてくると思います。だから今段階で、朝日みどり小の校舎を使うということになって、劣化状況を確認したら、かなりさくら小学校も傷んでいる、小川小学校も傷んでるんです。全部調べてはあったんですけども、どの程度かかるかっていうことまでは調査はしてありませんでした。実際、使用する校舎が決まって初めて劣化状況、外壁含めて、経費が出てきたんです。その結果、3億6000万ほどかかるということがわかってきたので、ならば、もう小川小とみどり小の子ども達のために、とにかく統合することになったんですから、その子たちの環境は確保してやらねばならないので、よりよい環境のために、その分はお金をかけるっていうことは、何も私達、嘘はついてないですし、校舎の新築や増築にはお金をかけられないと伝えてきました。

参加者 だから、そういう状況をだして話すれば、選択肢がいっぱいあったじゃないですか。

市教委 例えばどういう選択肢ですか、

参加者 3校同時という声もありましたよ。

市教委 だから、それほどのお金はかけられないと。

参加者 今、何で3億4億なんですか。

市教委 経費がかかるんです。

参加者 さっきも言ったように、2校の統合でという提示には、考えられませんという話。他の学校もクマ対策するんですか。ここも、中学校も保育園3つも、囲うんですか。それはしないんですか

市教委 だから、例えば他の地域もそうですけれども、全部の学校に平等にお金はなかなかかけられない、限られた予算の中で、だから、使用校舎、

参加者 さくら小学校はじゃあ、フェンス無くていいんですか。みどりは…

市教委 そんなことは言うておりません。どこもかけなきゃいけないんですけども、

参加者 だから2校の統合の経費じゃないでしょってこと言ってるんです、私は。常態的な課題でしょう。鳥獣対策は。2校の統合に対するお金じゃないじゃないですか。

市教委 ただ、まず優先して、小川小とみどり小が統合することになったんで、小川にはかけませんけれども、みどりの校舎に

参加者 おかしい。小川小にはかけない。熊対策で困ってる小学校に。さくら小もそうですよ、保育園もそうですよ、中学校もそうですよ。そこはかけません。2校集まるからそこはします。おかしいでしょ、これ。違いますか。

市教委 すいません。はい。私たちも、教育委員会も、子ども達のことですので、

参加者 ぐだぐだぐだぐだ言うな。

市教委 学校によって時間差があるような、均一な学習環境を揃えなければならないなと思っております。ただ、限りある予算、お金の中で、それは優先順位をつけざるをえないというところで、ご理解いただいているところですし、それを今、みどり小学校、小川小学校の統合で、たまたまというか、補助事業によって、この統合のタイミングでメニューを使いますと、これまで普通の補助事業ですと、3分の1の国の補助率のものが2分の1で、統合のメニューを使うと2分の1でできるということで、例えばトイレ工事とか、他のところは大体10%、20%しか洋式化率になってないところを先にやらせていただいて、ただみどり小学校も、28%の洋式化率しかないんです。なので、この統合の年度を待って、今一緒にやらせていただくという工事もあったりして、それを束ねると金額が大きく見えて、今3億5000万という、数字になってきているということです。区長様がおっしゃるように、全くどこも危険な学校でしょうということはおっしゃる通りだと思います。ただ冒頭伝えさせてもらった通り、やっぱりお金が絡むことだし、背に腹は代えられないという状況です。

参加者 3億、半分負担されるから、それは違いますよ

市教委 それで優先順位をつけさせていただいたところなんです。

参加者 半分補助があるから、それはその通り使えばいいんだろうけど、だから1億5000万使っていいとか、6000万になってもいいとか、違うと思いますよ。それはさくら小とか他のところも整備していく、計上されてますか。来年度、今年度の予算に。計上されてますか。

市教委 今後は、まず今年度に現みどり小の改修工事ということで、計上させて、それについてご意見いただいたところですし、今後、村上でいうと、一中、東中が東中を使うとなっております。それから、岩中、神中も神林中を使うことになっておりますので、それらは来年度設計しております。

参加者 学校の設計図じゃなくて、こういうところはどうするんですか。計上されているのかってことを聞いている。どうするのか、そうすると。経費積むのですか、来年も、再来年も。

市教委 いずれ使っていく学校にはこのさくら小学校もちろんですけども、いずれやらなければならないタイミングは必ずきますけれども、まず、補助事業もある、統合の学校を優先して、今1校ずつになるのか、それでやらせていただいている。1歩1歩なんですけれども、そういう現状であります。

参加者 それ、優先順位がいま一つ理解出来ない。言うことが信用できない。その時その時。回答が任せておけない。他の人も言ってください。私ばかり話しているとあれなんで。

市教委 例えばこの照明のLED化、そのようなことはしなければならないので。今さくら小の洋式化率は54%で、まだ完全に洋式化もされておられません。そういうのはやっぱり、計画的にしていかなければならないと思います、避難所にもなっておりますし。だから、ほったらかしにはもちろんできません。ただ外壁工事とか、そうすると、やっぱり1度にはできませんので、優先的にするところを決めて、お金を使わせてもらって

参加者 優先ってどうやって決めるんですか。

市教委 統合して使用する校舎は優先度が高くなる。

参加者 ここはどこも傷んでないんで直す必要ないんですね、さくら小学校は。

市教委 傷んでます。劣化してます。

参加者 おかしいじゃないですか。

市教委 おかしくないです。

参加者 なんでおかしくないのよ。だから任しておけないっていうんだ。

市教委 じゃあ、どこもかしこも全部直さなければ駄目になってきます、一堂に。

参加者 統合する学校は先にして、統合しない学校は後でいいって言ってるんですか。おかしいでしょそれ。傷んでるところ雨漏りしてるところ、直さなきゃならないでしょって。

市教委 区長様、おっしゃる通りです。おっしゃる通りです。どこも傷んでるんです。

参加者 それを直せって。そういうのは、統合とは違うって言ってるんだ。

市教委 確かにそうです。子ども達も平等な恩恵を受ける必要はあると私たちも思っております。ただ、やっぱりお金のことですので、どうしても優先順位というのは、どうしてもありまして、傷んでるところの方を先に直さなければならない。

参加者 当たり前だって。

市教委 みんな一緒にできればいいんですけどもね、一緒の工事

参加者 言ってる観点が違う。統合するから直さなければならないと言うから、違うって言ってるの。

参加者 もし、みどり小学校の方を3億6000万かけました。そのあとにさくら小と、どっちか使うかもしれないって話をさっきおっしゃってましたけど、そこまでかけたらまずはさくら小は使うことはまずはないと思いますよね。

参加者 だから、今までと同じゼロベースでいいですかっていう、疑問ですね。

市教委 だからそれはやっぱり、あくまでも話し合った上で、どういうのが選択肢としてベストなのかは決めていかねばならないんだと思います。先にお金かけたから、もうそこしかないって、なるのか、それとも話し合った上で、やはりそっちの方になるのかとか、いや新たにお金かけなければならないとか、

参加者 約束違う。

参加者 皆さん、せっかく今日お集まりいただいたので、皆さんにもちょっと意見を求めたいと思うんです。皆さん今日来てくれた方は本当に、さくら小学校、そして猿沢保育園を思って、今日集まっていたいただいたので、皆さんにもぜひ、今、こう

いうことを聞きたいとか、こう思ってるとか、こういうのはどうだろうというのがあれば、ぜひ今この場で質問していただいて、もう遠慮なく、せっかくの会ですから、ぜひそういうことでお願いしたいと思います。

市教委 先ほどから工事中止だということを言われてますけれども、

参加者 まずみんなの意見を聞いてください。

市教委 ちょっとあれでしょうかね、簡単に小川小・みどり小の進捗状況の説明を、

参加者 一番心配してるのは、今後のタイムスケジュールですよ。さくら小学校がこのままでは、13年ですよっていう話があったと思います。この間、みどり小学校のPTA会長に、さくらは13年って言われてます。みどり小のPTA会長は話したら、いや11年で聞いてますよ。小川小のPTA会長にも話したら、いや、さくら小学校統合するのは11年って聞いてますよ。という話を聞いていたので、そこは3校が同じ。

市教委 11年に統合するということはどこにも一言も教育委員会はお話してません。

参加者 みどり小PTA会長に聞いたのは、さくら小学校は10年から統合協議。12年に統合。

市教委 では、資料の4、ちょっと説明させていただきますが、今、令和13年度、下の方ですけども、朝日さくら小学校、これ、2年生と3年生が7人と5人の見込みで、合わせると12人ですのでここで確実に複式学級が発生します。ただ2年3年で組むかというところではなく、おそらくこうなったら3年生と4年生が複式になるんだと思います。ただ、先ほど言われたように、本当に13年度にしか複式発生しないのかというと、どうも11年度に発生する可能性もありそうです。

2年生13人、3年生8人なんですが、これは全部通常学級に行く子ども達だったら心配ないんですが、ここから特別支援学級に行く子が何人か出ますと、ここで複式になる可能性もあります。でもそれはまだわかりません。仮に11年度に、もし複式学級が発生したとしても、教務主任の先生がつきますので、教務主任の先生が教務主任やりながら、1つ学級を持てば、複式は解消することもできます。

ただそれは学校全体にとっては、なかなか先生方の苦勞が多いことにはなりませんけれども、そうやって解決することはできます。だから、仮に13年度に統合しなければならなかったら、1年前の12年度は、複式解消の加配教員をつきますので、大丈夫です。

11年度も、さっき言ったような方法で複式は解消できます。ただ本当に将来的にもう14年度になると、おそらく2つ複式が発生してしまいます。何もしなければ。そうすると、本当に少ない人数、47人という人数の中で、子ども達が学ぶことになって、あともう1年2年経つと全部複式になる、そういう可能性もあります。子どもが本当に生まれてきません。そこを本当に私たちも心配してるところで、さくら小学校含め3校の統合は、13年度あたりがいいのではないかと今の状況では思っております。

市教委 皆さん令和6年度中にいろいろご足勞いただいたところで、こういう、概要版をお配りしたと思うんですけども、この一番最後のページに、教育委員会が示した図がありまして、そこで、その朝日の2段階のさくら小の黒にプロットしたのが、11年度以降の欄にプロットさせていただいたところなんです。それで、皆さん11年度という、ちょっと私たちも、表現、紛らわしいかったかもしれないんです

けど、そんなことで、勘違いされてる方もいらっしゃるのかなあということですし、また、令和6年度にいろいろお邪魔して、2段階か3校同時かというところには、やっぱりこの、今この数字は、最新の数字になってますけども、その頃でさえも、13年度頃には、もしかして複式なるかもしれないと。2段階で行った場合には、13年などを見越して令和9年ですとか、その辺から統合の検討を、またこういうふうな形でやらせてもらわなきゃいけないですよという話は伝えさせていただいてたと思います。

参加者 令和11年に1年生が5人になります。12年には1年生が7人、2年生が5人です。これ、例えば1年と2年生が令和12年のときに複式にならずに、3年4年で複式になる人数だと思うんです。今複式にならないっていうだけなんですけど、その時の1年生と2年生は5人で、1年もしくは2年間、学校生活を送ることになるんですよこれ。だから、確かに複式になりませんっていうのは、1年生のときの特別ルールっていうか、あって、これが3年4年であれば複式になる人数なんですよね。本当にこの令和11年度、5人という数字が複式にならないからいいかっていうと、この1年生は1年ないし2年を5人で、学校生活を送るといのは、複式にならないというだけで。

市教委 そうです。

参加者 なぜ130台の駐車場いるんですか。他の学校だって、それに似たような数字になってますか。なってないですよ。

市教委 区長様。一応ですね、今、その根拠は、小川小の家庭数は57世帯、みどり小が44世帯。これで101世帯になります。加えまして、職員が統合しますと約20人ぐらいはいるでしょう。

参加者 いや、わかるんですよ。わかるけど、それ絶対最大数を用意する必要があるんですか。工夫はできないですかってことを言ってるんですよ。他の学校じゃそれなりの駐車場を持っていますか。ここもそうだし。例えば。そこは2校一緒統合に伴ってという経費にはちょっと考えにくいっていうか。

市教委 そこは推進委員会に諮りたいと思います。

参加者 いや、だったらここで説明する必要ないんじゃないですか。ただ、そっちにお金いっぱい使うと、否が応でもさっき新しいPTA会長が言ったように、そっちになるんですよ。もう1回話をするんだと、言ったって、そこに今3億、4億かけるわけだから。そうすればそっちになるに決まってる。そうすると約束が違でしょ。だから最低必要限の自費を使ってください。そういう約束だったでしょ。熊対策、猿対策だってどこも同じでしょ。だからそこだけ何でやるんですか。違う。状態的な課題でしょう。最低限でやってくださいよ、そこにもう、みどり小学校は最後の学校ですという、言わんばかりじゃないですか。それ約束違う、だから詐欺だよ。騙したんですかってこと聞いているんです。そうなっちゃうです。今悪いの。そうやって整備したんだから、配慮したんだから。誰もがそう思いますよ。私だってそういうふうに思いますよ。その通りになれば、多分。それはそれで、今まで言ってきたこと違うじゃないですか。だから騙したのか。だから、任せられないって言ってるんですよ。そういう運び方するから。

市教委 じゃあ、今の2校の統合のためにお金使うな、使っちゃ駄目だ、中止しろっていうわけには決していきません。

参加者 必要最低限だって。

市教委 今、本当に工事費もさらに値上がり、だって心配してるところです。今の、アメリカ・イランの戦争で本当に高くなってるという可能性もあります。そういう中で、最低限の工事で、この程度今かかっている状況なんです。

参加者 最低限とは言えないでしょう。熊や猿なんて昇るんですよ、超えるんですよ。

市教委 いや小川小学校の保護者の皆さんが、みどり小の校舎使うにあたって心配していた。

参加者 じゃあ明日行って聞いてみてください。

市教委 何を聞けって言うんですか。

参加者 だから、この金額。明日説明するんでしょう、向こうでも。それで何て言うか。それでいいです、そっちの人はいいって言うかもしれないけど、私がおかしいって言いたくなりますよ。さくら小はフェンスで囲ってくれないんですねと、中学校も保育園もそうですね。

市教委 いや、獣対策は小川、舘腰、三面の人達が子ども達をやるにあたって、一番心配していた点なんで、

参加者 フェンスを建ててくださいという要望じゃないという聞いてますよ。鳥獣対策をしなきゃいけないと、それはここも同じ、どこもそうなんですから。だけどフェンスを作ってくださいという要望じゃないというふうに聞いてます。6000万円もかかる2段階で。中学校や隣の保育園はどうするんですか。

市教委 区長様、おっしゃる通り、確かに鳥獣対策については、まだちょっと煮詰めきれてないところがあります。今後、明日、おっしゃる通り会議がありますので、そこで決めていかなければならないなというところですし、またちょっと余談になりますけども、そのフェンスにお金をかけるより、周りを伐採というか間伐する案はどうだという話も出てたところです。

参加者 それでこのフェンスを確保して、園庭で遊べるんですかみどり小は。

市教委 園庭で常に遊んでます。みどり小はグラウンドというよりは、グラウンドだと、植栽の木だとかで教務室から見えないので、そういうところあって、どうも園庭で遊べるような、仕組みになっているようです。どうしてもそのグラウンドで、皆さん遊びたい時は先生に声をかけて、先生がついて遊んでもらうという話だそうです。

参加者 すいません。質問よろしいですか。今後の統合の関係で、小川小・みどり小と統合して、その後さくら小と、どっちの校舎使うかっていうふうに話のほうは聞いていた中で、国の補助事業を使って、ここ改修していくってことではあるんですけども、改修したときに多額の国費が入っている中で、本当にさくら小と対等の立場で話し合う機会っていうのは設けられるものなんでしょうか。もう国費を使ったからには、自動的にここじゃないと駄目だよかっていう制限がついたりとか、するものじゃないんでしょうか。あともう1つなんですけど、フェンスをつけるっていうのもわかるんですけども、どこまでの高さのフェンスをつけるのか、単純に今後の対策なのか、それとも、子ども達が周りに飛び出さない

ようにする程度の高さにするのかわ、全然話が違ってくると思うので、そこも教えていただければありがたいです。

市教委           フェンスにつきましては、高さについては1.5mで考えてます、今のところ。ただ、それをみどり小学校をグルッととなりますと、約900mぐらいの延長になってしまうので、北側鳥獣側はいらぬとか、防犯のその南側はいらぬんだとか、そこをその辺まだ、ちょっと申し訳ないです。今の段階でまだ決まらなくて、その必要性については少しまた検討、精査していかなければならないところです。

参加者           国費使ったら、すぐ取り止めなんてことはできないのでは。3校については、このさくら小学校になるかみどり小学校になるか、そしてさくら小学校になりますってなったら、その国費どうなる。

市教委           補助金につきましては、10年を超えるか超えないかで、また1つありまして10年以内に使わなくなるとなりますと、有償の場合ですとか譲渡という場合には、補助金の返還が発生する見込みです。10年を経過すれば、例えば目的外使用をしたとしても返還というのではないですけれども、市の基金に積み立てればいいですよということで、だんだん補助金の方も緩和になってきているところで、10年以内ですと、返還の可能性が高くなっていくところですよ。

参加者           だから最終的には、3校統合してどこかに決まるわけでしょう。今工事して、10年でやめますってことはできないでしょう。そこらへんですよ。

参加者           もう決まってるじゃないですか。話が全然違ってくる。また、その時その時でそう騙すことになっちゃうよ。話し合いはできない。もう1回話し合いできないでしょう。だから、要するに違うじゃないですか。また違うこと言ってるよ。だから任しておけないって。信用できない。

参加者           いいですか。例えばこれ、3月14日のときの議事録で、その時の小学校PTA役員の方の内容なんですけど、私は2校を通して、朝日さくら小学校があとで統合の方がいいと思っています。それはやっぱり統合して、みどり小学校に3校同士で通わせるということは違和感がある。このさくら小学校の校舎を使って学校に来てもらいたい、通ってもらいたい。それはなぜかという、今自然災害とか色々なことがあって、国道の近くに学校があってそういうことを考えると、川向こうに行って勉強するというのはなかなか自分の考えでは違和感があるというのが1つ。先ほど教育長の方からもありましたが、後でさくら小学校が統合すれば、ここかみどり小になるか、もう一度話ができる。教育長は、みどり小はまだ決まっておられませんという回答をしています。だから、投票のときも、さくら小学校の校舎を使うことはゼロではないですよって話をしている、だから投票結果も、例えばもう先に統合したところに、もう行くんですよってなれば、おそらく結果も違ったんじゃないですかね。

市教委           さくら小の保護者としての皆さんの決定の会議、3月14日より前でしたよね。あのとき、保護者の皆さんの意見が多かったのは、校舎がどこになるかっていう意見よりは、1学級の規模が、人数が増えてしまうことへの不安。今のさくら小学校の状況がとても良好に運営されているので、複式になるわけでもないんであれば、今の状態を継続したいっていう保護者さんの声が多くて、2段階っていうのが選択されたっていうふうに私は受けとめています。

参加者           多くはなかったと思います。多かったなんて言うのはやめてください。

参加者 校舎が使えるというのが多分あって、普通に考えるとさくら小学校の校舎が一番新しい、児童数も一番余計、だから3校同時であれば、一番有利に話を進めることができたのは朝日さくら小学校なんです。それで、ある人が、さくら小学校はまだ人が余計だから、統合する必要はないですよ、後でさくら小学校使えるんだったら、後でもいいんじゃないかって言うような話をした人がいましたけども。だから、投票するときって、今いろいろこう選挙ニュースにとかそういうのに左右されて、だから、本当にそのときの投票のときに、今こうやって、みどり小学校選べば、もうみどり小学校固定ですよって言われれば、じゃあ本当に2段階でいいって選んだかっていうと、ちょっと疑問が残ります。

市教委 もし、3校同時に令和9年度となると、入るキャパがあるのは、みどり小学校の校舎で教育委員会は提案させていただいておりましたよね。さくらも小川も、ちょっと教室数が狭いとか少ないとか、特別教室も含めて。そういう提案で、3校同時ってのいうのはなくなったわけですけども、いずれにしてもその時点、その時は、みどりの校舎を使うっていう前提での3校同時、だったと私は理解してるんですけども。だから今このみどりの校舎使えばいいっていうのはまた別ですよ。令和9年度だったらみどりになるだろうと。そこは了解いただいてるわけですよ。

参加者 いや、ただ、中学校使ったらどうかっていう案もあったんですよ。

市教委 わかります。

参加者 みどり小だけじゃなくて。それは中学校は駄目だとかっていう話でお金も掛かるし、いろいろ。教育長がおっしゃってるのは、何か、結論ありきの話を、理由をつけてやってるんですよ。私に言わせれば。結論があって、それを、駄目な理由で潰して、その案に通すと。それしか私には見えません。だからそれは絶対違うんじゃないですかね、話が。また今色んな言い訳をする、それは本当皆さんおっしゃる通り、誰も信用できませんよ、これでは。これで本当無事に統合できるんですか、進むんですか。非常に疑問です。明確に、やっぱり、今、国の補助を使って、後で充填できないって話であれば、それも決まってしまうわけですよ。後で話し合いなんてできるわけじゃないですね。それをしっかりと精査して、皆さんに説明していただいて、いや、できないことはできませんで、皆さんでどう考えるんですかって話になるんじゃないですか。そんな気がします。

参加者 いずれにしてもこの人数じゃ駄目だ、さくら小側の意見としては、これ勢い決められたら、たまったもんじゃない。また。これだけができるし、来てない人もいるし、話してきましたなんて、議事録作られたら、たまったもんじゃないですからね。

参加者 今日、なぜ開催したのか、皆さんご存じですか。明日、みどり小学校と小川小学校の統合推進委員会があります。その場で昨日、さくら小学校に説明しておきましたとか、そういう報告したいから今日なんですよ。

参加者 それは駄目だ。

参加者 そうなんですよ。それだけの人数で、そうじゃない、わざわざミニバスあって、駐車場使えませんかとなりますっていうふうになるんですね。ずっと失礼な対応なんですけれども、今本当に思うことがあれば、声を上げた方がいいんじゃないですか。

参加者 補助金はもう申請したんですか。

市教委 申請してあります。

参加者 じゃ事後説明。

参加者 3月14日のときの説明会の時には、その国費を使ってみどり小を改修しますっていう話はされたんですよね、もちろん。

参加者 いや、されてません。

参加者 お話されてないんですかね。そしたら10年経ったら、10年以内に使用しなければ、返還しなければならないというのは、半分脅しのような気もするんですけども。さくら小を相対的に使わないようにするではないんですけど、国費だと10年以内に、目的の用途として使用しなければ、返還しなければならないっていうような話を、多分聞いてればもっと別な回答とかされたかと思うけど、そもそも国費を使って改修した建物と、ただのさくら小になり、立場が違ってくるし、そういう話も大分前から分かってたんだったら、その都度に詳しく説明すべきだったと思う。10年以内に返還しなければならない。

市教委 あれですね、10年以内に返還っていうのは、例えば有償で貸した場合ですと、有償となりますと、別な教育目的とは違う目的で、貸すような話になるので、そういう場合には、返還が出てきますよ。空き校舎になっただけでは、返還は発生しないです。その次の使い方によるんです。10年以内に返還するというのが発生するかどうかについては。同じ教育目的などで、使い続けるためには返還は必要ないんです。もし、他の目的で、例えば転用ですとか、他の業者に貸すですとか、いうふうな話になると目的外使用という形で返還が生じてくる。ただ、学校が閉校になっただけでは、返還とどうかはまた、その後によって変わってくるので、決まってないことです。

参加者 その時の3月の説明会で話しはしてない？ 国費のその、補助金を使って話しはしてないでしたか。

市教委 具体的な話しはしてなかったです。

参加者 それはでも、その段階ではわかっていらっしやったんですか。

市教委 もちろん、こういう制度ですので、制度的にはありましたし。

参加者 そういう案を考えてるってことの話もしてなかったですか？ それも補助金を使って、改修しようかっていう話もしませんでしたかその時。

市教委 いろんな情報提供をその時になりますと、それがあつたために3校同時にしましょうかという、何か説得材料に繋がるというか、そういう話もありましたので、あんまりこう、判断材料に直接繋がるようなことは、あんまりこう積極的な情報提供はしてなかったになります。ただ、その何かしらは統合によって、多少の改修はそれは当然、必要になりますよねっていうところは何かどっかで私、伝えてきたかなあと思うんですけど。例えば、あの名板とかも当然変えなければなりませんし、壁とかも、統合によって、今まで結構外壁の剥離、みどり小こぼれ落ちてるようなところもあったりするので、その辺は当然改修は、わざわざ伝えなくても、わかっていただけかなというところでした。

- 参加者 だから必要最低限でいいんじゃないですかって言ってるじゃないですか。
- 参加者 小川小学校の人から聞いたが、小川小学校では大々的な改修は望んでないという意見が大半だったらしいんですよ。その辺の意見は、教育委員会はどういうふうに考えてるのか。
- 市教委 前回、3月に4回目の推進委員会を開催して、推進委員全員で16人でした。そのときには確かに委員の館腰地域の区長様からそういう話はありませんでしたが、他の委員さんからは特になかった状況です。
- 参加者 いつもさ、なかったからいいんだってそっち思わないでくんない。
- 参加者 ちょっといいですか。教育委員会とは、調べると、教育委員会制度の意義っていうのがまず一番にできます。1、政治的中立性の確保。2、継続性、安定性の確保、教育は子どもの健全な成長発達のため、一貫した方針のもと、安定的に行われることが必要。そして3番目、地域住民の意向の反映。教育は、地域住民にとっての関心の高い行政分野であり、専門家のみが担うものではなく、広く地域住民の参加を踏まえて行うことが必要であるとあります。さらに、教育委員会制度の特性、首長からの独立性、合議制、住民による意思決定、レイマンコントロールとあります。住民が専門的な行政機関で構成される事務局を指揮監督する、いわゆるレイマンコントロールの仕組みにより、専門家の判断のみによらない、広く地域住民の意向を反映した教育行政を実現とあるんですけども、我々さくら小学校で今説明会のたびに、地域の方からの声は全く反映されてなかったように思うんです。
- 参加者 議会かける前にもっと話しすべきだったんですよ。全体的に。議会通ればいいと思ったら違う、住民と全然かけ離れてるじゃないですか。これだけ違うんだから、その前に話しすべきなんですよ、3校関係者に、朝日地区住民に。議会通ったからいいなんて言っちゃ困りますよ。議会の議員さんたちはこういう経緯知らないんだからさ、みんな。その前に話をするべき。議会にこういう提案、予算をかけますよ。
- 参加者 そして私、3月10日に教育委員会から案内文書をいただいて、地域とともにある学校づくりについての研修会を受けてきました。本当にこれ、教育委員会の方で、地域とともにある学校づくりを目指してるんでしょうか。今部活動を地域に移行しました。これからもっと地域移行を考えているんですけども、地域の声を聞かないで、本当にこれ、学校統合向かっていけるんでしょうか。普通であれば、3校ですから、三角形から始まって、会議するために六角形だったり九角形だったり、どんどん丸に近づいていくはずなんですけど。今回の統合の説明会は話し合いを持った時に、分解してってバラバラになって、お互いがいがみ合っているようにしか見えないんですけど、本当にこの進め方って、子ども達の将来を考えて進められてるんでしょうか。今、この朝日さくら小学校だけではなくて、関わるすべての小学校に同じ話をするべきじゃないですかね。1つに集めて。そうではないとお互いにぶつかり合って、全然こう1つになっていけないように思うんですけど。会うたびにこういう会議になってしまって、普通であればどんどん関わっていたものが丸になって近づいてって、じゃあどうしようってなるはずなんですけど。話し合いを持つために、どんどん、違う方向へ、そして違う意見を抑え込もうとする、そうではなくて皆さんの意見を、それからどんどん丸へ近づいていくように誘導するのが教育委員会であって、逆にその自分たちの将来の目標をどんどん押し付けてくるんじゃないかと、やっぱり地域の意見に対しては、まず

聞いていただいて、それをもとに、どんどん丸へ導いていただくのが、教育委員会の仕事だと思うんですよ。

市教委

いや、そういう努力はさせてもらいましたよ。最初教育委員会の案として、2段階の統合を考えていたんですけども、今、言われたように、3校同時がいいんじゃないかっていう提案を受けて、そのための方策を探って、こういうことをやればできるんじゃないかというご提案をさせてもらいました。そういう中で中学校の校舎も使えばいいんじゃないかというご意見も確かに、3校の平等性からいったら、いいんじゃないかっていうご意見もちょうだいしましたが、なかなかその中学校の校舎を大規模に改修するお金はとてもないと、3億、4億で済む話ではないと思っております。だからできないと、お伝えして、みどりの校舎を使った3校同時の統合だったらどうでしょうかという話になったんです。確かにその時、工事のお話はいたしませんでした。大規模な外壁工事とか、ちょっと私もそこは思い至ってなかったんで、できなかったんですけども。

参加者

わかります。わかります。

市教委

ただ、何も努力してないっていう、

参加者

だから、最初から3つで話したほうがいいんじゃないと言ってきたじゃないですか。あくまでも分けてきたじゃないですか。あなたたちの2段階の話、もうこっちはこっちの話って。3つ一緒にやったらどうですかって、私何回も言ったんですよ。なんだったら保育園も入れてって言ったはずですよ、関係するんだから、間近に。一緒に朝日全体で話すべきじゃないですかって何度も言ったんですよ、最初から。それを何でしなかったんですかって最初に言ったんですよ。やってきたつもりは。あくまでも2つに分けて話させてるじゃないですか。自分たちの計画通りの話。みんなまとめて話したらどうですかって何回も言いましたよ、保育園も入れてどうですかと言ってるはずですよ、最初っから。一昨年の7月のときから言いました。それも全然聞く耳を持たずね、あくまでも2校の統合の話してください。さくら小は2段階の話でいいですよ、じゃあ話してください。それだけじゃないですか。だからさっき後ろでも言ったように、ありきの話しかしてないんですよ。自分たちの計画の乗っ取った話しかしてないんですよ。他のことを聞こうとしないんですよ。それが、無性に面白くないんだよ、最初から。なんでそうやって話してこなかったの。で今になって3億だの、だからこういっぱい出てくるんですよ。分けて話してきたわけですから、あくまでも計画自分たちの計画通りの話進めてきた。朝日3つしかないんだから、3つ全体でどうあるべきか話しませんか、した方がいいんじゃないですかって。何回も言いましたよ。最初から、一昨年から言いましたよ。

市教委

統合のスケジュールとして、統合各学校ごとの統合検討会、合同統合検討会、統合推進委員会っていうステップ踏んで、考えてたんですけども、小川小学校さんとみどり小学校さんは合同統合検討会に進んでいい。そして話し合ってた、さくら小学校さんのことをどうするんだと、心配されてたんで、さくら小学校さんにも何度もお話、説明にうかがわせていただきました。ただ、3校同時に話し合うという機会は、持てませんでしたけれども、それはステップが違うんであって、

参加者

だからステップ分けてるから違うんですって、スタートから違うって言ってきたじゃないですかということ言ってるんですよ。それぞれに説明してきましたはわかってますよ。スタートから違うんじゃないか、ないんじゃないか、なかったんですかという、今更言うつもりはなかったんですけども。最初からスタートが間違っ

たんです。やり方、こういう運び方。そう思います。だからこういうふうになるんです。いや、十分やってきました、そういう風に思ってる。みんな朝日地区の皆さんどうでしょうかって話をなぜしなかったんですかってこと聞いたんですよ。改めて。

市教委　だから教育委員会としては2段階でないと、学校のキャパがないと判断したんで、2段階をまず提案させていただいたんです。でもそれじゃ

参加者　そこが間違ってたんだ、最初。なぜ3校一緒にそういう話を進められなかったのか。なぜ2校最初統合して、あとから一緒に。そういうことが間違っていた。

市教委　3校同時に入れる校舎がなかったんで、それじゃつくればいって言われたってそういうお金もございません。

参加者　言ったじゃないですか意見を。キャパがない、キャパがない。お金をかけない、金かけないのは2校です。同じことをさっきから繰り返さないでください。

市教委　現実にもどり小学校で複式が発生して、一刻も早く解消して欲しいという保護者の強い願いもあったんです。小川小学校もこのままだと来年から複式が発生してしまいます。

参加者　いや、わかりますよ。それを解消しなくちゃいけないのはわかる。だから2段階でいいんですかって違うでしょって話が。たかが三つしかない。

市教委　だから、さくら小学校の皆さんに5回もお邪魔して、さくらの皆さんどういう判断されますかって言う中で、結果的には2段階を、

参加者　2段階、3校同時って話は戻れないんだろうから、2校のときに最低必要限の費用でやって下さい。他の学校を後回しにしないでください。鳥獣対策であろうがなんだろうが、だから中止してください。3億6000万とか、4億、まるっと、そこだけ優先するような。

市教委　いやそれはできませんけれども、さっき言ったようにLEDとか特別教室のエアコン設置だとか、中学校はエアコン設置は全部終わってますんで。あとトイレの洋式化、そういうのを順次やっていかなければならないところは計画的にやっていきますので、

参加者　2校の統合に伴うっていうから、中身違うんじゃないですか。他の優先順位だあってあるでしょ。

市教委　ただ優先順位をつけるためには、統合校舎を使う、それはすいません、

参加者　納得できません。容認できません。

参加者　とりあえず折衷案とすれば、多くのお金を使わないで、市のお金だけでやってもらう範囲内だと思うのが一番いいんじゃないですか。そうすれば、もう10年の縛りもないし、できる範囲内。そういう意見もあります。もちろんやるのであればですよ。そうすれば、市の金だけでできる範囲内でいいんじゃないですか、その範囲内で。

参加者　なんで事前に相談しないのかな。どんどん進めるのか。いや、住民の理解を得

ないうちにどんどん進む。なんで始めるのか、議会通す前に話しすべきでこの案件は、ずっとやってきたんだから、何年も。

参加者 すいません、聞かせてください。今の国の補助があって、工事をするということですが、10年以上を経ないと補助金返還だよと、先ほどの10年以上教育施設として使えば小学校でなくても、補助金の返還は生じませんという話だったんですが、具体的に、例えばこんなことをすれば、さくら小と一緒にする時にさくら小の校舎使うよと。となるとみどり小が空きますよね。だから具体的に教育施設ってどんなのがあるのか、この点と。さくら小学校に、また、この校舎を使いますとなった時に、国の補助事業は、今と同じような事業、使えますでしょうか。それとも、全部一般財源でしょうか。あわせて、起債なんかも使えるのか、その辺聞かせていただけますか。要は二重にお金かけるわけですよ。代わりに、みどり小が入った場合には、教育施設って具体的にどんなものが考えられるのか。2点お願いします。

市教委 教育施設については、例えばどこかの学校、林間学校であったりですか、大学の機関が来たりだとか、そういうのを考えられると思いますし、また、保育園とか、ちょっと見込みはないかもしれないですけども、その他の教育機関っていう形となりますと、お金返還にはならないと思います。

2点目の補助事業を、数年後、このさくら小学校にというときには、まだわかりませんが現行の制度ですと、その統合のメニューも使えるものだと思います。まだ先のことですので、これはどうなるかは申し訳ないです言えないので、

参加者 現行のやつ見てなくてすぐ進められますね。

市教委 現行のままでいうところでは進め、補助対象になるのかなというところですか。それしか申し上げられません。

参加者 ただ、1点目の、例えばどっかの学校とかって話ありましたが、これだけ子どもが減っていて、学校余っているのに、ここに来ますなんて、おそろくないと、考えられないと思います。それと、現行の制度だと、ここになった場合も、現行の補助使えるよという話だったんですが同じ地区で、たった今使って、何年もたたないのに、国でそれは認めないと思うんですよ。起債あたりも、多分同じだと思います。税金の無駄遣いになりますんで、わかんないですけどね。

参加者 明日の統合推進委員会なんですけど、その場でさくら小が統合するときには、またもう一度さくら小学校の校舎を使うことも検討しますと、明日報告できるんですか。

市教委 これまで議会でも、そのように答えてますので、ここでお答えしたように、新たにそうなった場合は合同統合検討会の場で話し合って、使用校舎を決める。ただし、何度も言いますが、今、みどり小学校の改修のためにかけたということは、何て言いましたかね、正確に尊重してもらわなければならないとか重要だということ、私議会でも答弁させていただいております。ただし、話し合うことについては、一切否定はしておりませんので。

参加者 何を尊重するんでしょう。話し合う余地ないじゃないですか。話し合う余地がない。いい加減な言い方やめてください。

参加者 すいません。初めてこういう場に来たのですが、ずっと聞いてて、ちょっと思

ったのは、もう結論出てるんじゃないですか。もう何年後にはこう、その後こうなるんです。その構想ができている話なのかなって感じしたんですけどいかがでしょうか。本音のところ。

市教委 当初から、令和9年度にもし統合するんだったら、みどり小の校舎しかないなという選択肢はありました。それについてはご理解いただいたんじゃないかと思うんですけども、中学校の校舎使えばいいっていうことは別にして、小学校のどっかの校舎使うんだったら、みどりの校舎だよと。

参加者 金かけても、3校、みどり小じゃなくても、今これだけやるんだったら、補助金もらってどうだったんですか。あのときも言ったんですよねだから、それはなぜしなかったんですかって最初からこれを何回も聞いている。

市教委 新築とか増築とかは

参加者 だから、なんでそれ駄目なの、新增築はなぜ駄目なの

市教委 もっと多額のお金がかかります。

参加者 いや、情勢にもこれだけもう4億あげるんですよ。補助金もらいながら、その時じゃあ、このくらい増築費用かかっているってさっきも言ったでしょ。

市教委 その額じゃ収まらない額がかかります。

参加者 補助金、申請すればいいじゃないんじゃないですか。どのくらい上がるか出さないで、削減される経費を出さないで。何回同じこと言わせるの。

市教委 だって入れるキャパがみどり小の校舎を使えば、何とかできるだけお金がかからない状態で入れるっていうことを提案させていただいたんですけども

参加者 だから、金かけてもいいんじゃないですかって言ったでしょ。削減方法の筋もあるでしょう。なぜそれをしなかったんですか。あの時も散々言ったでしょ。

市教委 財政も認めないと思います。

参加者 今はいいんというのか。

市教委 今は、増築、増築・新築じゃないのです。

参加者 いやいや増築が駄目で、修繕がいいっていうのが分からない、言ってることが。同じお金でしょう。もっと増築して立派なのできて、補助金もらって3校もできたらよかったんじゃないですか、下手すれば。だから選択肢がいっぱいあったでしょうと。中学校も。

市教委 そのためにお金たくさんかけて、またいずれ子どもの数が減って、そういうところになかなか投資はできないって言っているんです。

参加者 いや、今はいいんですか。子どもも減っているのに、3億4億は少ないと言っているんですか。

市教委 今、雨漏りとか、トイレの洋式化28%を解消に

参加者 雨漏りに3億4億もかかるのか

市教委 外壁工事なども

参加者 だったら小学校の雨漏り直して下さいよ。漏れてたのであれば。外壁悪かったら直して下さいよ、小川小も。おかしいこと言ってるよ、あなたは。だから信用できないってさっきから言ってるんだ。

市教委 1度に全部かけられないって言ってるんです。だから使用する校舎を優先に

参加者 だから、外壁で3校を合わせれば何ぼかかるんでしょ。出してみなさいよ。雨漏り、フェンスなんかは後回しにして。

市教委 雨漏りは建物建築検査でいうと、本当によくない状態で、それはみんなクラックとか防水とかが機能してない状態で伝わってくるということなので。

参加者 どこの話ですかそれ。

市教委 みどり小学校の話。

参加者 ここは。小川小。中学校は。

市教委 ここはないと聞いてます。

参加者 中学校は？

市教委 中学校も特にないと聞いてます。

参加者 聞いてます。調べてないじゃないですか。

市教委 あと、小川小学校は用具室の方に雨漏りあると聞いてます。その指摘箇所がそれぞれ、あるんですが、端的に言えば、同じ、同額がそれぞれかかってくるんだろうと思います。小川小学校は剥離ですとか、クラック箇所が多いのですなわち、金額がかかるだろうなど。

参加者 それをだから、直せと説明した。

市教委 雨漏りというのは、どっから入ってきてるかわからないんですわね。

参加者 だから小川小も直すんですね。

市教委 ですのでさきほども区長様、お伝えさせた通り、みんな平等にやればいいんですけれども、それはお金のかかることなので、優先順位をつけさせていただいたと。  
小川は直しません。

参加者 なんで直さない雨漏りしてるとこ。小川小の校舎に居れて言っているの。

市教委 いや、だから突然雨漏りしてきたら、何らかの対処はしないとイケませんけれ

ども、あと今年度1年しか使わない校舎に多額のお金はかけません。

参加者 そんなわかる。それよりも、フェンスとか駐車場とかそんなにいらんんじゃないですかって言うてるんすよ。工夫したらできるでしょう。熊や猿何か1.5メートルで越えますよ。

市教委 いやそれはわかります。わかりますけれども、最低限の対応をしなければならぬということ、今計画させてもらってるんです。

参加者 だからここも計画して、保育園もしなきゃいけないでしょ。教育委員会、のご意見は関係ありませんっていうのまた？ 部署が違いますっていいですか。私ら住民からすれば全部同じですからね。小川小学校なんて熊来る。対処しなくちゃいけない、なんらかの。フェンス作れとは言いませんよ。フェンスが一番いいのか、もっとみんなで話し合うべきじゃないですか。今までもそうやってやってきたわけだから。熊が出たら禁止、屋外出たら駄目、或いは先生方が見て、遊ばせる、それでもいいじゃないですか。今までそうやって過ごしてきたし。どうしてもこうしてもみどり小だけフェンス囲ってていう。隣の保育園どうするんですか。中学校もどうするんですか。あれ、みどり小学校だけフェンス囲って、高南保育園は後ろ林担いで、何もされてない。おかしいでしょう、どう考えても。いやそれ教育長は部署が違うというかもしれないでも、市長に聞かねば駄目だ。

市教委 いや区長様、分かるんです、おっしゃること十分分かるんです。ただ、みんな囲って安全性保てれば、それはいいに越したことはないと思うんですけれども。

参加者 だから今までの予防対策はもっと強化してやって行って、金を少なく抑えてくださいというの、さくら小ともう1回協議するんであれば。そういうことを言うてるんすよ。そこだけ目立つような大金かけ、効果も期待できないようなことはやめてください。駐車場は130台いらんないでしょ。同じことばかり言わせないでくれない。

市教委 フェンスにつきましては、これまだ確定ではないといえますか、まだ議論が、

参加者 申請したんでしょ、国の補助金を。フェンスじゃないの。

市教委 建設の中のメニューは防犯になるんですけれども、最悪、あまりこの精査ができなかったというところで、減額することも可能ではあるので。さらに精査させていただこうと思います。なお、明日それについてはまた諮って、決めていきたいと思っています。

参加者 明日、小川小学校とみどり小学校の会議にどういう説明するんですか。全然話まとまらないでしょ。

市教委 説明も同じような、こういう事情があつて、こういう建設、修繕工事を考えましたという説明をする予定です。

参加者 話しはまとまらなかったっていう内容だ。

市教委 さくら小さんのここでの話も、明日情報提供はしなければならないと思ってます。

参加者 今のところ誰1人わかりましたって言った人いないよね。この何十人の中で。は

っきり言って、そこを押さえてくださいよ。いろんな意見は言ったけど、しょうがない、わかりましたって言った人いないよ。この人数しかいないけど。

市教委 いや、ただ、小川小・みどり小の一緒になる子どもたちのために必要な環境を整えていかねばならないことは、しなければならぬと思います。それがさくら小の皆さんが納得いかないっていうかもしれないけど、とにかく来年統合するんですから、その環境は最低限整えていきます。

参加者 住民のお声を聞かずに、教育長が進めるところのことですね。

市教委 それは統合が決定したので、そのような工事が子どもたちのために必要になると。

参加者 すいません。であれば、明日の説明会にフェンスを付けるって話で説明することですか。

市教委 明日は、フェンスについては再協議する形です。位置がどの辺のところをつけたらいいか。まだ正式な決まりはいただいたてはなかったんで。

参加者 見積もりは入ってましたか。

市教委 見積もりも入っていますし、ただ資材の高騰でどれくらい、例えばアスファルトの整備、駐車場整備なんかも予算内で本当にできるのかどうか、だからいろいろ工事が不確定な部分がある。

参加者 補助金を取り下げることでもできるんですね、申請を。違ってくるわけだな、下手すると。

市教委 一番最後にお伝えしようと思ってたんですけども、今、昨今の資材不足の関係で、こういう額で、みどり小に今投資するところを今計画しましたが、全く先を見通せない状況になってきているところは確かです。設計業者さんとかから情報あつたりして。

参加者 取り下げればいいんじゃないですか？ 早速、まずは。これだけ建設の足はどういうふうに出るかわかりませんが、まず取り下げ。

市教委 まず、それもですね。この情勢もわからない不透明なだけで、仮に情勢がガラッと元通りになったとなれば、そのまま工事も施行さしてもらわなければならないです。

参加者 住民が理解してなくても進めるってことですよ。

市教委 それは、これまで我慢してきた、小川小・みどり小の子どもたち、多少不憫したところもありますし、また統合をするところになって、何も改修しないわけには、

参加者 最低限でと言ってるじゃないですか。

市教委 雨漏りなどもしたままでとは思いますが、

参加者 全部駄目なんて誰も言ってないからさ、極端な言い方やめてくれませんか。雨漏りしてもいいなんて誰も言ってないでしょ。極端だよ言い方が。本当に必要最低限

でどうでしょうかって言うてるだけでしょ。特化したような、そこだけ目立つようなことは、いかなもんですかって言うてるのに。そこまでする必要、本当にあるんですか。工夫はないんですか。そういうことを言うてるんですよ。雨漏りしていいなんて誰も言ってない。

市教委 必要最低限、そうなんですよ。私らもそんな華美過大に工事とかやってるわけではない。これも必要最低限の工事だと

参加者 それも必要最低限の工事だと誰も思わないって、さっきから言うてるじゃないですか、食い違ってる。

参加者 さっきも言いましたけども、補助申請を取り下げられるのであれば、取り下げていただいて、市の財政でできる範囲内でやっていただくと。それが一番いいような気がしますけど。その範囲内でやっていただければ、おそらく皆さんも納得できるじゃないですか。そういうことで、次の統合にあたって、さくら小学校が使える可能性もあるということで、今は使える可能性はほぼゼロですから。

市教委 この会議の最初に、今後の検討のスケジュールについて、若干お話があったと思いますけども。

参加者 何スケジュールですって？

市教委 統合検討のスケジュールです。例えば、早めにやらなければならないと、さくら小さんの側の方が判断した場合、人数規模については、人数が多いままということになるので、そうなりますと市の教育委員会としては、また、みどり小学校の方を押さざるをえないかなと、部屋数の関係から。また、統合年度をどこを目標にするかによってまた違ってきますけれども、部屋の数と部屋の規模、サイズ感から、その統合年度によっては、そういう状況なのかなと考えております。

市教委 学校に対するそれぞれの地域の皆さんの思い願いはわかりますよ。本当に、教育委員会としても、本当に申し訳ないと思ってるんですけども、どっか1校の校舎を使うという選択肢しか、今のところありませんので。当然、もしこっちの校舎を使えばいいんでないかという話題になれば、みどり・小川の人たちが、何で金をかけたのに、何だったんだって、そういう意見だって当然出てきますよね。だからそういうのを出し合いながら、最終的に決めてもらうしかないんじゃないんですか。だったら工事しなければいいのではないかなんていうことにはならない。とにかく今2校は統合を決めたんですから、そこに最低限の投資は必要なんです。

参加者 それで言うてるじゃないですか。いいじゃないですか。いいんだけどさ、3億4億、本当にどうでしょうかという意見を言うてるんでしょ。使っちゃいけないなど言ってませんよ。また言うけど、2校の統合に伴う経費といえるんですかって言うてる。それを最低必要限というんですかって言うてるんですよ。

市教委 工事の中身は、フェンスとか含めて精査はいたします、いたしますけれども、概ね、3億6000万位はかかるんじゃないかと思っておりますので、その工事はやらせてもらわなければならないと思っております。

参加者 ただ、冒頭に戻りますけども、そうすると、さくら小学校と統合する場合、検討するって言うてますけども、それは検討じゃなくて説明ですよ。結果論としてそこはできませんよ。今度一緒になる、今のみどり小学校しか使えませんかという話になりますね。そうすれば、今の話であれば、検討じゃなくてありきですよ。

だって、補助金も申請し、議会も通ってるんでしょ。その3億なにがし。それを覆すことできないですよ。

市教委　できないですよ。

参加者　できないでしょ。だから、最初からそう言えばいいのに。

参加者　その前に何で話しをしなかったのかって言ってるんです。議会にかける前に。

参加者　議会通したものを今ここでごちゃごちゃ言っても。もっとパブリックコメントを聞かしてもらいたいな。ずっと流れて何年もかけてやってきたんだからさ。勝手に進めないで、意見を聞きながら。だって議会でも、みどり小学校を使えますってことは、述べたんでしょ。

市教委　いや述べてないですよ。述べてないですよ、さくら小学校と統合するときは、合同統合検討会に進んだ段階で話し合うという。ただし、工事をしたということは尊重してもらわなければならないという言い方しました。ただそれが決まってるんじゃないかと言われれば、そう受け取られても仕方ない面はありますけれども、

参加者　それだけやめてくれないかな。そういう言い方、おかしいでしょ。

市教委　どういう風に私、答えることができるんですか。

参加者　だからさっきも、国庫の補助金を使えばもう使わざるをえないって言ってるんですが。検討も何もないですよ。屁理屈ですよ。尊重してくれ、もう1回協議しましょうなんて。とにかく詐欺だと。騙すんですか。また、同じようなことばかり言ってる。今日は終わり。

参加者　今日は時間も過ぎたし、終わりにしませんか。これ以下でも以上でもない。

市教委　小川小・みどり小の明日の統合推進委員会で今日出た話題を伝えます。伝えた上で、あちらの皆さんの意見も聞きたいと思います。

参加者　それなんですけど、1回ぐらいは全部集まってもいいんじゃないですか。我々の不信感は、さくら小に対する説明と小川小・みどり小にしてる説明が、違うんじゃないかと思ってんです。だから全部集まったところで、こういう内容ですって言えばいいんじゃないですか。みんな同じところ見なきゃならないのに、それぞれで話してるからまたこうなっていると思う。だから話し合いするために、いがみ合ってどんどん支離滅裂になってるんです。普通だったら、話し合うたびにどんどんこうマルに近づいていかなきゃならないのに、話し合うたびに分裂してって、ああでもないこうでもない。普通は角が取れてどんどん丸くなっていくはずなのに、全然建設的な話がなくて。そして、さくら小学校も、向こう改修しても使う可能性があるんですよって言われれば、逆に小川小・みどり小の人達は、何言ってんだって思うかもしれないですよ。だから、みんな集まって話しすればいいんじゃないですか。同じ方向を見るために。いつまでもまとまらない。最初に1回まとまって集めれば、みんな同じ方向性を向いていたかもしれない。

市教委　いやもう、令和9年度に2校が統合するわけですから、その工事も今年度しなければならぬわけですよ。それなのに工事ができないとか、そうなると、それはそれで困りますので、集まって話し合っているのは、大事なことだと思います。

参加者 　ただ、さくら小学校も納得してないかもしれませんが、小川小学校の皆さんだ  
って、中学校使ったらどうだっていう案を。

市教委 　今、そんなのは、推進委員会で話題になっておりませんのもう、それを繰り返  
さないでください。

参加者 　それは我々じゃないんで。向こうの話です。向こうからまず2つが1つになれる  
かという問題ですから。

市教委 　いや今それに向かって、進めているところで反対意見は出ていない状況です。

参加者 　すいません、これ、いくら話しても進まないと思うんで、これだけは確認させて  
ください。さくら小学校が向こうの学校とまた統合検討するときには、対等で白紙  
の状態から協議することよろしいでしょうか。それができないのであれば、いく  
ら話しても駄目なんで、それだけお答え願えればと思います。いくら国庫補助金使  
って、向こうの校舎の直しても結構ですけども、さくら小が向こうと一緒になる  
ときは、対等で、一から白紙の状態から話し合いができますでしょうか。できない  
ってことになれば、何も話しても駄目なんで。

市教委 　対等というのはどちらの校舎を使うという意味ですか。

参加者 　そうです。

市教委 　校舎だけの問題ですね。

参加者 　どっちを使うかっていう時に、白紙の状態から、いや、あの時投資したから、み  
どり小だよみたいな雰囲気だったんで、それはないですよ。これだけ確認させて  
ください。

参加者 　いや、そうやって言っているんですよ。重きをおいてくださいって。

参加者 　そうすれば決まりだって。いやおかしいって。いや、だから、それだけは確認さ  
せてもらわないと。

市教委 　確かに、話し合うときに、50：50ではないのはわかります。わかりますけれど  
も、先に統合決めたところにお金を投資する。そういう事実は受け止めてほしいと  
言っているんです。

参加者 　投資はいいんですけども。お金を使っても、このさくら小が統合検討するとき  
には、その補助金の話はもうなしですよ。補助金は抜きにして、対等なんですつ  
ていうことです。そうであればもう全然問題ないんで、皆さんも問題ないと思いま  
す。その時になって、いや、実はあの時、金使ったから、さくら小学校は無理です  
って言われても困るんで。

市教委 　私たちが言わなくても、向こうの学校が言う可能性はありますよね。

参加者 　向こうの学校が言うのは構いません。教育委員会として、白紙の立場で話し合  
いできるかどうか。補助金とか工事は関係なくして。今、最低限の部分の工事はしな  
ければならないんだと思います。だからどうしても必要なんだから、今お金かける  
わけですよ、それはそれでいいですよ。お金かけても。さくら小と一緒になる  
ときには、そういうことはなくして、白紙の状態から始めてもらえれば皆さん何も言

うことないと思います。それだけ確認させてください。それで、時間も時間なんで、これ聞いたら終わりにしませんか。

市教委 それは、さくら小学校の皆さんが、例えば令和13年度の統合をよしとしてくれた場合ですよね。

参加者 要は、どちらの校舎を使うと言う話に絶対なるはずなんで。その時に、教育委員会では、真っ白、一からの話にしてもらえば、誰も文句ないと思うんです。

参加者 でも、議会で重く受け止めてくださいと言ってる。撤回するのですか。

市教委 いや、撤回はしません。お金をかけたという事実があると言っただけですから。

参加者 今やる工事っていうのは、どうしても必要だからする工事なんですよね。

市教委 そうです。

参加者 統合、子どもは減りますけども、これはしなきゃ駄目だって工事をするんですよ、話聞いてると。

市教委 そうですね。

参加者 それであれば、次の統合には関係ないわけなんで。

市教委 いや、関係なくありません。統合するから優先順位をつけて先に。それ以上して意味ないですけども。

参加者 それはいいんですけども、子どもたちが勉強するために必要な工事を今されるわけですよね。

市教委 そうです。そうです。

参加者 だから、今度、さくら小がまた統合したときには、この話はなしですよ。子どもたちが勉強するために必要なのだけ工事するわけでしょう。将来、3校の統合の校舎としてを見据えてするのではないですよ。

市教委 そういう意味ですね。そうですね。今は2校の統合のためですけども、

参加者 今度さくら小が一緒になるときに、いや、あの時、これだけお金かけたから、どうしてもそっちだよって話は無しですよ。

市教委 教育委員会としては、対等に話し合うところからスタートしなければならないと思っております。

参加者 となれば、重きを置いてくださいってのはおかしいでしょ。

市教委 おかしいと言われても、お金かけたという事実はあるわけですから、それは認めてくださいと言ってるんです。

参加者 子どもじゃないんだから、そういう言い方やめてくれませんか。重きを置いてくださいとは、そこが最後の拠点になる意味ってことでしょう。議会でそうやって質

問があり、そう答えたのが違うって言うんですか。

市教委 言わないと言いました。撤回しませんって。

参加者 いや重きにするんでしょう。みどり小学校を。

市教委 ただ教育委員会として、新しいあさひ小学校の校舎を使えという言い方はしませんよと。

参加者 言ったじゃないですか。重く受け止めてくださいって。その言葉の使い方、子どもじゃないってば。議会だってそう思ったはずですよ。そこが、そういうふうになるんだなと。そう教育長は考えてるんだなと思ったはずですよ。それ違うんですか。おかしいでしょ言い方が。

市教委 いや、分かります。分かります。お気持ち。

参加者 令和7年3月14日の、ここでやった検討会の議事録に載っている。そこで教育長が約束した内容、ありますよね。

市教委 合同統合検討会の場で話し合う。いいんじゃないんですか。

参加者 そうですよ。それでいいですよ。

市教委 話し合います。

参加者 皆さんそういうことだそうですね。

参加者 では重きを置いてくださいって言わないでくださいよ。議会でそういうふうに言ったじゃないですか。それ撤回してください。

市教委 いや、撤回はできません。

参加者 じゃあOKしろと言うことでしょ。だから、子どもじゃないってば、そんなの。皆さん聞いてみてください。どういう意味と取りますかって。そこにしたいですという思いってことです、それは。何回言ったら分かるの。子どもじゃないんだ、みんな。言葉の使い方を変えないでほしい。だからもう信用できないってこと。

市教委 仮に、そのみどり小の校舎を使わせてくださいっていう、こっちが言えば、

参加者 そんなこといっちゃ、言っちゃダメですよ。

市教委 だから、重きを置くっていうことを撤回しろと言うわけですか。

参加者 いやいや、皆さんに状況を説明してさ、どうしましょう。どういう方向に持っていきましょかって話なんです。2段階で、さくら小はその後だって、その出し方が間違っただすっていう。だから、これ、みどり小使ってください、さくら小にしましょかとか、そんなこと言わなくていいんです。皆さんに意見を求める場ですよ。状況を説明して、その時、みどり小学校だかあさひ小学校だが分かりませんが、こうやって投資しました、こういう状態になってます。朝日さくら小学校はこういう状態ですとか、それでどうでしょうかっていう話をすればいいだけの話です。別に、みどりにして下さいとか、さくらにして下さいとか、言えなんて言って

ないんです。だけど、議会でそういう言い方したから、今言っていることが違うんでしょってこと言っている。もう一回話、対等で検討ができるんですから。それが全然、中身の違う言い方やめて下さいってこと。じゃあどこにしてくださいなんて言わなくていいんです。現状、状況話してさ、これ皆さんで検討しましょうか、それでいいんです。その代わり、その時は色んな情報を出してくださいよと。そうすれば、皆さんで選んでもらうってことなんだよ。偏った情報の出し方はやめて下さい。

市教委 合同統合検討会の中で、使用校舎については話し合うんですけれども、その1つの判断の材料として、当然投資したお金も判断材料の1つになるということを私、議会でも述べただけです。

参加者 そうじゃないですよ、議事録見ると、教育長。それは重く受けとめて結構ですということでありましたよ。

市教委 はい、重く受け止めてくださいって言ったんです。

参加者 いや、だから、それは、ここですよって思いがあるってことじゃないですか。誰もそんな話し聞きませんよ、弁解したって。議員の皆さん聞いてみて。じゃあどういうふうに取りましたか。いや、これは統合するみどり小学校を残したい思いがある。そう感じたと思いますよ、皆さん。ここにいる人に聞いてみて。その発言は取りましたかって。今日は終わりにしましょう。

参加者 ただ1つだけいえるのは、さくら小として、今日会議ありましたけど、何も進展なかったっていうだけです。明日の統合推進委員会で、昨日、さくら小にちゃんと説明して、さくら小から了解いただいてきましたなんて、変なこと言わないでくださいね。雰囲気や伝えたりしないでね。

市教委 今おっしゃるのはわかるんですけど、ただトイレだとか、現に今のみどり小は、ここよりも不便な状況になってるんです。小川小もそうですし、工事すること自体は、

参加者 今、もう変なこと言わないで。

市教委 それで改修することで、いわゆる、故に校舎の価値が高まってしまうところの理解をいただきましたかということなんですから、

参加者 またその統合検討の時に状況を話すればいい。さくら小学校がどういう状態が変わってます。ああです、こうですと。

市教委 明日、こういうふうな状況だったってことを伝えてもらえますし、また機会を持って開催させてもらわなければならないなと思います。次回についてはまだ未定ですが、またいつかのタイミングを見て、説明会議開かせてもらいたいと思います。今日はどうも長時間ありがとうございました。帰りはお気を付けてお帰り下さい。